



いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 8 **来年は絶対成らせる！課題を確認し対策を実施！**

1 安定生産に向けて～要因解析と対策の検討～

◆ **マメコバチが激減！** 今年、ハチの飛びが悪かった園地は来年、**ミツバチを追加して導入！**

◆ **結実不良要因を分析し、次期作に向けた対策を実施！**

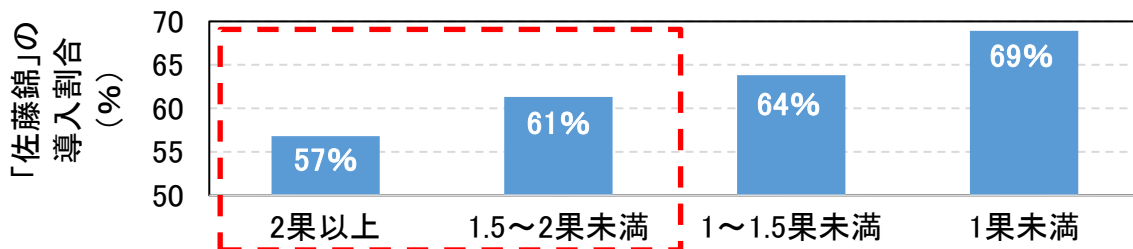


**マメコバチがピンチ！
増殖不良で来年も
少ない可能性大**

【「佐藤錦」の結実が良好であった園地の特徴】

- ・ 受粉樹の割合が4～5割
- ・ 切り枝を設置
- ・ ミツバチ、マメコバチの導入密度が高い
- ・ 受粉樹の品種が多い（5品種程度）
- ・ 人工受粉等を実施
- ・ 前年に早期落葉していない

■ 「佐藤錦」の結実程度と品種の導入割合（R7 生産者 119 名のアンケート調査結果より）



■ 「佐藤錦」の結実程度と訪花昆虫、結実対策等の実施状況（同上）

「佐藤錦」の 結実程度	導入群数、巣箱数(/10a)		切り枝 の設置	人工受粉		前年の早期 落葉発生
	ミツバチ	マメコバチ		実施率	回数	
2果以上	0.46 箱	1.30 か所	26%	57%	3.1 回	23%
1.5～2果未満	0.50 箱	1.31 か所	32%	60%	2.5 回	12%
1～1.5果未満	0.39 箱	0.75 か所	19%	50%	2.3 回	46%
1果未満	0.38 箱	0.75 か所	9%	32%	1.9 回	36%

【来年に向けた対策】

今すぐできること

計画的に取り組むこと

減少している
マメコバチ
の補完

○ ミツバチの追加導入



**マメコバチの減少分を
ミツバチで補填！
今までの 1.5 倍を
目安に設置しよう！**

○ マメコバチの飼養管理

（マユ洗浄、ヨシ巢追加等）



受粉環境
の改善

○ 切り枝の設置

（1 箇所当たりの枝の量が多いよりも、設置箇所数が多い方が効果的）

○ 「紅さやか」等受粉樹の部分的な高接ぎ

（「佐藤錦」の上部の大枝に部分的に高接ぎ）

○ 「佐藤錦」からの品種更新

（「やまがた紅王」「紅秀峰」等への更新）

開花期の
天候不順
対策

○ 人工受粉の実施（強風、低温等の場合は少なくとも3回以上実施）

○ 防風ネットの設置（風上側を中心に発芽期頃から2mm目のネットを設置）

○ 早期被覆の実施（開花期に雨よけビニルを展張＋灌水）

病虫害防除の徹底（早期落葉防止）、健全な樹体生育の確保

2 今後の管理について

- ◎ 今年、高温少雨による**葉の黄化・落葉**が多く、
花芽の充実不足が懸念（**結実不良や凍害が心配**）



適切な肥培管理・防除で花芽を充実させる

（1）基肥・灌水

- ◆ 基肥は、根が活動している9月中旬までに施用
 - ・年間施肥量のうち礼肥施用分の残りを施用
 - ・樹勢が低下した樹は完熟たい肥を連年施用
- ◆ 土壌が乾燥している場合は灌水を実施
 - ・灌水で基肥を確実に効かせる
 - ・幼木は根域が浅く、乾燥で樹が衰弱しやすい



葉の黄化・落葉の様子

特に、

- ・樹勢が弱い樹
- ・成らせすぎた「紅秀峰」

しっかり施用

（2）褐色せん孔病防除の徹底



- ・今年も落葉している園地がみられる
- ・発病がみられる園地では9月中旬に確実に防除を実施
- ・被害落葉は翌年の伝染源となるため、収集し、適切に処分

（3）光環境の改善

- ◆ 夏季剪定を控えてきた園地では、**気温が下がってきた9月中旬以降**に行う

夏季剪定が**必要の無い**園地・樹



- ・光が樹冠内部にも差し込んでいる
- ・隣接樹との**余裕がある**園地
- ・樹勢が**適正～弱い樹**

夏季剪定が**必要な**園地・樹



- ・光が樹冠下に届いていない
- ・樹間の**空間がない**
- ・樹勢が**強い樹**（強勢な枝や徒長枝が多い樹）

- ◆ 始めに・・・隣同士の樹の枝が重なっていたら ⇒ 間伐樹の 縮伐・間伐
- ◆ 次に・・・樹冠内部が暗い樹、特に樹勢が強い樹 ⇒ 大枝の整理（最小限の実施）

【夏季剪定の注意点】 < **必須作業ではありません！** >

- ・剪定は最小限に！ **ノコギリによる間引き中心で**
- ・夏季剪定が必要な時は、**9月中旬以降に行う**（日焼け・双子果防止）
※近年、7月下旬から9月上旬は高温多日照《双子果発生の要因》
上記の時期は、夏季剪定を控えて過度に明るくしないことが大切

適切な施肥と防除で、来年に『いいものをたくさん成らせる』園地をつくろう！

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL:023-621-8291

TEL:0237-86-8301

TEL:0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会（事務局：農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課）